

平成26年度

全国学力・学習状況調査の
結果について



海老名市立有馬中学校

全国学力・学習状況調査について	P. 1
「国語に関する調査結果」と「今後の具体的な取組」	P. 2
「数学に関する調査結果」と「今後の具体的な取組」	P. 3
「生徒質問紙の結果より」と「今後の具体的な取組」	P. 4
ご家庭で取り組んでいただきたいこと	P. 5
(資料) 指導や学習・生活習慣と学力との関係	P. 6



全国学力・学習状況調査について

全国学力・学習状況調査は、平成19年度に始まった全国一斉の調査です。平成22～24年度は抽出調査（平成23年度は震災の関係で実施を中止）でしたが、昨年度から再び、全国すべての小中学校が対象となりました。

◆ 調査の目的

- (1) 児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。
- (2) 学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。
- (3) 以上のような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

◆ 調査の対象

国・公・私立学校の以下の学年、原則として全児童生徒

- ・ 小学校第6学年
- ・ 中学校第3学年



◆ 調査内容

- (1) 教科に関する調査

【小学校】

国語A・算数A（主として「知識」に関する問題）

国語B・算数B（主として「活用」に関する問題）

【中学校】

国語A・数学A（主として「知識」に関する問題）

国語B・数学B（主として「活用」に関する問題）

「主として『知識』に関する問題」とは？

これからの学習や生活をしていく上で、確実に身につけておかなければならない基礎的な力を調査する問題

「主として『活用』に関する問題」とは？

身につけた基礎的な力を生かして様々な問題を解決したり、工夫して生活したりする力を調査する問題

- (2) 児童生徒に対する質問紙調査

学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面等に関する質問

- (3) 学校に対する質問紙調査

指導方法や取組、人的・物的な教育条件の整備の状況等

◆ 調査実施日

平成26年4月22日（火）

国語に関する調査結果

国語 A

(主として「知識」に関する問題)

《優れている所》

- 全体的に「話す・聞く」ことはよくできています。中でも「目的に応じて、資料を効果的に活用して話す」ことが非常によくできています
- 「文章の内容に即して漢字を正しく読む」ことは概ねできています
- 「辞書を活用して、語句の意味を適切に書く」ことがよくできています
- 「古典と昔話を対応させて内容を捉える」ことができています

《努力を要する所》

- 「文章の内容に即して漢字を正しく書く」ことが大きな課題です
- 「登場人物の言動から心情を理解する」ことが課題です



国語 B

(主として「活用」に関する問題)

《優れている所》

- 「複数の資料から必要な情報を読み取る」ことがよくできています
- 「資料から適切な情報を読み取り、それを明確に伝えるように書く」ことが概ねできています
- 落語「目黒のさんま」の中の人物の言動の意味を考え、その姿を想像することができています

《努力を要する所》

- 「文章表現」(特に「比喩の表現とその効果の理解」)について、に課題があります
- 〈標語〉から伝わってくる〈メッセージ〉と〈表現の工夫とその効果〉について、「自分の考えを書くこと」に課題があります
- 「文章から必要な情報を読み取る」ことが課題です

今後の具体的な取組

- 漢字小テストで、小学校3年生からの漢字を繰り返し学習し定着をめざします
- 授業の中でも辞書を活用し、語彙力を高めていきます
- 表現技法の理解を深めるとともに、学習活動の中で課題作文等の文章表現をする機会を増やします
- 朝読書や図書室の利用など読書習慣の定着を図り、いろいろな文章に触れる機会を増やします



数学に関する調査結果

数学 A

(主として「知識」に関する問題)

《優れている所》

- 「正の数・負の数の計算、特に同じ数を何回かかけ合わせた場合の計算」がよくできています
- 一元一次方程式を解くとき、適切に移項をおこない解くことができます



《努力を要する所》

- 「数量の大小関係を不等式に表わすこと」の理解が不足していて大きな課題です
- 「空間図形の知識・理解」について大きな課題があります
- 「文字の式に数を代入して、値を求めること」について課題があります
- 「絶対値の理解」及び「図形における作図の方法についての理解」に課題があります

数学 B

(主として「活用」に関する問題)

《優れている所》

- 「与えられた表やグラフから、必要な情報を適切に読み取ること」はできています
- 「2つの偶数の和は偶数になるか」、「2つの偶数の商はいつでも偶数になる」ことを予想することができます

《努力を要する所》

- 「2つの偶数 $2m$ 、 $2n$ の和、 $2m+2n$ が偶数になることを、この式を変形して説明すること」に課題があります
- 「2つの数量の間に、どのような関係があるかを導き出すこと」に課題があります
- 「わかっていることから、角の大きさを求めること」に課題があります

今後の具体的な取組

- 2年次で実施している「少人数制授業」を1年次に展開し、中学校の早い段階で、全体的な知識理解の向上を図っていきます
- 小テストによる基本的な計算の反復で、「できる」「分かる」の意識を持ち、学習意欲を高めていくようにします
- 家庭学習が定着できるように、来年度も補習や再テストを継続して行い定着を図っていきます
- 図形の領域にみられるように、模型などの補助器具を多く使った授業を展開し、目に見える形で理解を深められるようにします
- 手作りの教材(カード・ボード・図形など)での授業を充実させていきます



生徒質問紙の結果より

学習について

《よかった所》

- 「授業のとき分からないことがあった場合どうするか」という項目では、全国平均の2倍ほどの生徒が「その場で先生に聞く」「後で先生に聞く」と答えています
- 「学級みんなで協力して何かをやり遂げ、うれしかったことがありますか」という項目については、全国平均をかなり上回った生徒が、あてはまると答えています

《課題と思われる所》

- 「国語の勉強が好きですか」という項目では、全国平均より多くの生徒が苦手意識を持っていることがわかります
- 「家で学校の授業の復習をしていますか」とについては、「全くしていない」と答えた生徒が、全国平均をかなり上回っています



生活について

《よかった所》

- 保護者の授業参観や運動会などの学校行事への参加が、全国平均よりかなり高かったです
- 「学級みんなで協力して何かをやり遂げ、うれしかったことがありますか」という項目については、多くの生徒がそのように思っています



《課題と思われる所》

- 平日における家庭での学習時間が全国平均に比べ、とても少ないです
- 平日において、携帯電話やスマートフォンでの通話やメール、インターネットをする時間が全国平均よりかなり多いです(2時間以上の生徒46.1%)
- 「友達に伝えたいことをうまく伝えることができますか」という項目については、苦手意識がみられます

今後の具体的な取組

- テレビ・ビデオ・DVD、テレビゲーム、携帯電話、スマートフォンの利用時間が多いので、学校でも生徒に働きかけ、それらの利用時間について考えさせます
- 学習時間が曜日を問わず少ないので、家庭学習の大切さや家庭学習のやり方について学校からも強く働きかけます
- 国語や数学の授業では今まで以上に「調べる」「話し合う」「発表する」といった活動時間を確保し、授業の改善に取り組みます



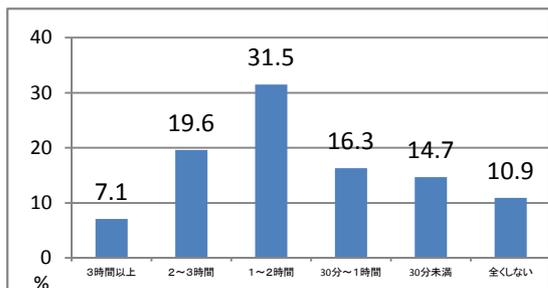
ご家庭で取り組んでいただきたいこと

平成26年度全国学力・学習状況調査の結果の分析より、「ご家庭で取り組んでいただきたい6つの項目」をまとめました。できることから、ぜひ、始めてみてください。

1 家庭での学習にしっかり取り組みましょう

家庭での学習時間を決めましょう
家庭での予習・復習は大切です

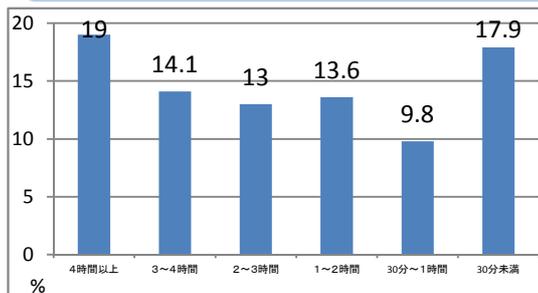
家庭での学習時間



2 携帯電話やスマートフォンの利用時間を減らしましょう

家庭で利用時間のルールを作りましょう

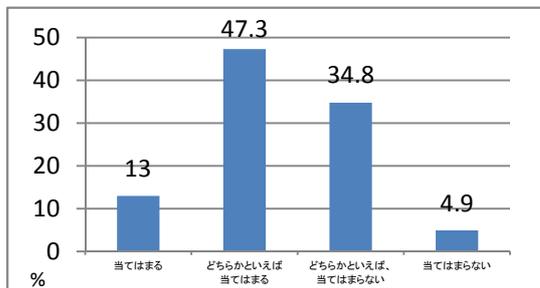
携帯電話やスマートフォンの利用時間



3 友達に自分の気持ちを伝えましょう

自分の気持ちを友達にはっきり伝えることで誤解を避けられる場合もあります

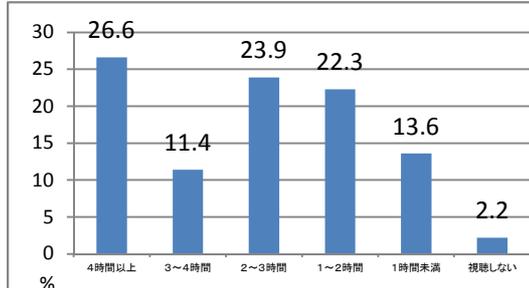
友達に気持ちを伝えていますか



4 テレビ、ビデオ、DVDの視聴時間を減らしましょう

貴重な時間の有効な使い方を考えましょう

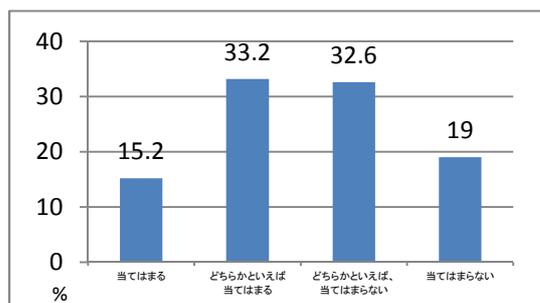
1日当たりの視聴時間



5 地域の行事に参加しましょう

地域のことを知ることや、地域の人と触れ合うことが大切です

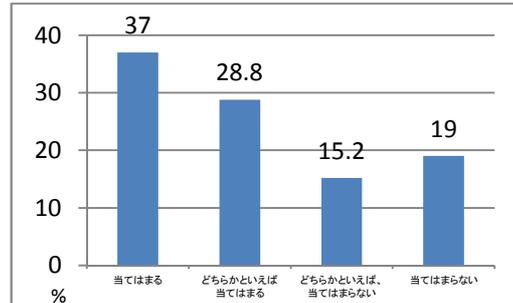
地域の行事に参加していますか



6 将来の夢や目標を持ちましょう

将来の夢を持つことで、今自分が何をすべきか見えてきます

将来の夢や目標を持っていますか



資料

指導や学習・生活習慣と学力との関係

文部科学省が全国の児童生徒の調査結果を分析したところ、次のようなことがわかりました。海老名市全体の分析でもまったく同じ結果が出ており、今後の指導や家庭・地域への呼びかけに生かして行きたいと考えています。

学校における指導と学力との関係

次のような指導を行った学校ほど、教科の平均正答率が高い傾向にある。
さらに、学習意欲や家庭での学習時間等についても高い傾向にある。
(教科に関する調査、学校質問紙調査より)

【指導方法・学習規律】

- ・ 学習規律(私語をしない、話をしている人の方を向いて聞くなど)の維持徹底
- ・ 学習方法(適切にノートをとる、テストの間違いを振り返って学習するなど)に関する指導
- ・ 学級全員で取り組んだり挑戦したりする課題やテーマを与える
- ・ 本やインターネットなどを使った資料の調べ方が身に付くよう指導

【国語科・数学科の指導方法】

- ・ 発展的な学習の指導
- ・ 国語の指導として、目的や相手に応じて話したり聞いたりする授業、書く習慣を付ける授業、様々な文章を読む習慣を付ける授業
- ・ 数学の指導として、実生活における事象との関連を図った授業

【言語活動】

- ・ 各教科等の指導のねらいを明確にした上で、言語活動を適切に位置付ける
- ・ 様々な考えを引き出したり、思考を深めたりするような発問や指導
- ・ 発言や活動の時間を確保した授業
- ・ 学級やグループで話し合う活動
- ・ 資料を使って発表ができるよう指導
- ・ 自分で調べたことや考えたことを分かりやすく文章に書かせる指導

【総合的な学習の時間】

- ・ 総合的な学習の時間における探究活動(課題の設定からまとめ・表現に至る探究の過程を意識した指導)

【家庭学習】

- ・ 調べたり文章を書いたりする宿題を与える

【研修】

- ・ 教職員が、校内外の研修や研究会に参加し、その成果を教育活動に積極的に反映

生徒の学習・生活習慣と学力との関係

次のような生徒ほど、教科の平均正答率が高い傾向にある。
(教科に関する調査、生徒質問紙調査より)

【教科への関心・意欲・態度】

- ・ 国語、数学に対する関心・意欲・態度が高い

【家庭学習・読書】

- ・ 学校の授業時間以外での学習時間が長い
- ・ 自分で計画立てて勉強をする
- ・ 学校の宿題、授業の予習・復習をする
- ・ 読書が好き、読書時間が長い、学校や地域の図書館に行く頻度が多い

【学校生活】

- ・ 学級みんなで協力して何かをやり遂げ、うれしかったことがある
- ・ 先生は、自分のよいところを認めてくれると思う

【基本的生活習慣】

- ・ 朝食を毎日食べる
- ・ 毎日、同じぐらいの時刻に寝る

【メディアとの関係】

- ・ 携帯電話やスマートフォンで通話・メール・インターネットをする時間が短い
- ・ テレビゲームをしている時間が短い

【家庭でのコミュニケーション等】

- ・ 家の人と学校での出来事について話をする
- ・ 家の人は、授業参観や運動会などの学校行事に来る

【社会に対する興味・関心】

- ・ 地域や社会で起こっている問題や出来事に関心がある
- ・ 地域や社会をよくするために何をすべきか考えることがある
- ・ 新聞を読んでいる
- ・ テレビのニュース番組やインターネットのニュースを見る

【自尊意識・規範意識】

- ・ ものごとを最後までやり遂げて、うれしかったことがある
- ・ 学校のきまり・規則を守っている
- ・ 人の気持ちが分かる人間になりたいと思う

「えびなっ子しあわせプラン」ってなあに？

「えびなっ子しあわせプラン」は今年度から平成28年度までの3年間の海老名市の教育プランです。

ひとりひとりの海老名の子どもが、将来、しあわせに生きるために必要な「3つの力」を小・中学校の義務教育9年間で、学校や家庭、地域の教育をとおして、確実に身につけることを目的としています。

◇◆しあわせに生きるために必要な「3つの力」◆◇

学 力

大人になっても学習をつづけるために
基礎的な学力と学習意欲を身につけよう！



.....
教員の授業力を高めます。（授業改善の取組）



.....
小中一貫教育を進めます。（試行校での研究）



.....
市費の教員やボランティアを配置します。

集団力

人間関係を作り、集団の中で自分の役割を果たし、
自分を生かす力を身につけよう！



.....
人間関係作りの学習計画を作成します。



.....
いじめや不登校の問題に積極的に取り組みます。

健康安全力

自分の健康や安全に気をつけて、
いつまでも楽しく生活する力を身につけよう！



.....
体力・運動能力の向上をめざします。



.....
自分の命を守るための学習計画を作成します。

学校と家庭と地域がスクラムを組んで子どもを支えます



みなさまのご理解とご協力をよろしくお願いします。

海老名市教育委員会



平成26年12月